

事業計画書（事業変更計画書）

1 団体の概要

（ 28 年 4 月 1 日現在）

団体名	いわくに研究会		
設立・登記年月日	平成20年1月20日	構成員数	22 (人)世帯
主たる事務所の所在地	郵便番号 740-0044	岩国市通津1951-10	
代表者	(役職) 会長 (氏名) 中野 敏		
	(電話) 090-8992-7660/090-5573-9372		
	(FAX) 0827-39-0012/03-6368-4661		
	(メール) BikejoyQ@aol.com		
	(団体ホームページURL) http://www.bike-joy.com/ICD.htm		
団体組織体制 (役員、事務局、会員の構成等を記載)	6条より 会長1名・副会長1名・理事若干名・事務局長1名・事務局次長1名・会計1名・会計監査2名 (顧問及び参与を置く事が出来る)		
設立目的及び 主な活動内容	2条より あらゆる環境問題が我々の町と里の生活環境のバランスを崩し、地域のコミュニティーを崩壊しつつある。それらを回復する為、農業を始めとする様々な産業に於ける課題を教育や福祉とも関連づけ克服する努力を通して、地域の福地化の一助とすることを目的とする。		
主な活動実績 (新規設立の場合は活動予定を記載)	3条より・・・本会は、前条の目的を達成する為、次の事業を実行する。(1)発展している地域や組織、逆に課題のある地域や組織を視察・交流し、あらゆる情報を収集・分析し、必要に応じて公開する。(2)課題のある地域や、組織が発展する為に、可能な限り様々な支援を実行する。(3)必要に応じて部会を設ける。(4)広報活動等行う。(5)その他、目的を達成する為の企画を立案、実行。 ★活動実績・・・設立当初の2008年から2009年にかけては「大人の社会見学」として、市内の「神東の棚田」、「錦町のバイオマス施設」、「市内各所に点在する朝市」や、市外の「庄原バイオマスタウン」を回る。また2010年は「レンコンレシピ研究」を行い試食会を数回実施。 そして2011年より、「大人の社会見学」から発展させた、点を線で結び面を遊ぶ「岩国かるたドライブ」の企画実現に向け試走会やプレ走行会を実施し、ある程度の感触を得た上で、岩国市や山口きらめき財団の補助金を利用して、複数回実施しています。		
年間活動費	20万～100万円		
活動資金 (会費、事業収入等の活動費の財源内訳を記載)	会費10万円 事業収入10～40万円 補助金30～50万円		
過去の交付金 交付決定状況	平成24年度・岩国市みんなの夢をはぐくむ交付金 30万円 平成26年度・山口きらめき財団助成金 50万円		

2 今回申請する事業の内容

(1) 事業名	
お宝かるた@くるっと岩国16 - 17	
(2) 事業実施のきっかけ（申請事業を行うことに至った動機やこれまでの経緯等について記載）	
ゲーム旅・岩国かるたドライブをアレンジした、自動車＋自転車＋徒歩＆公共交通のザッピング企画をベースにした、明治維新150周年応援企画・毛利チャレンジの提案準備作業の中で、いわくにバスの一日乗車券を利用した「お宝かるた@くるっと岩国トライアル2016」を実験企画として1月31日に実施しました。その企画調整・実施準備中に各方面より、いわくにバスの有効活用を目的とした単体での実施を進言されされ、今回の申請に至りました。	
(3) 事業の目的（申請事業によって何を目標しているかを記載）	
1月31日の実験企画で判明した以下の課題の修正。「バス一日乗車券のコストパフォーマンスとバス運行の詳細把握」「トレジャーポイントの配置と推奨ルート」「買い物ゲームの位置付けと協力店舗確保」「岩国福袋（参加記念品、景品協力）と岩国逸品選考」「ノウハウの移植（運営協力者探し）」および「知名度アップ」	
(4) 事業を行うことで期待される効果、公益性（申請事業によって何が期待されるかについて記載）	
上記課題の修正はもとより、ゲーム旅本来の目的、地域資源発掘や地域ブランド磨きを促進すると共に、参加者においては地域や郷土への興味が増し、柔軟かつ高い意識を持った市民が少しでも多く育つことで福地化に繋がると考えます。	
(5) 事業の内容（申請事業の実施時期、場所、回数、参加予定人数等を含め、その内容を具体的に記載）	
実施時期	平成28年8月～翌年2月
実施場所	①岩国～由宇往復 ②岩国～新岩国～空港 ③岩国～錦帯橋～平田
実施回数	①8月28日（日） ②12月11日（日） ③2月12日（日）
参加予定人数	各回定員50名／計150名
参加料などがある場合はその単価	参加費（一日乗車券、マップ、保険、他）：大人1500円／子ども800円
事業内容詳細	
バス一日乗車券を活用し、エリア内26箇所のお宝ポイントを推奨ルートやヒントを頼りに巡り、訪問者のより少ないロンリートレジャーを推理するゲーム旅。その認知度を市民に広め、また既存団体との連携を模索しつつ、ゲーム旅の精度アップを目指す実験企画。	
(6) 事業のスケジュール（事業計画時から実施及びその後の予定を記載）	
<ul style="list-style-type: none"> * 4月～5月・・・企画調整 * 6月・・・・・・募集要項作成 * 7月・・・・・・募集開始／岩国福袋や買い物ゲームへの企画協力依頼 * 8月・・・・・・第1回夏の陣実施（TP調査は2週間前までに終わらせる） * 12月・・・・・・第2回秋の陣実施（TP調査は2週間前までに終わらせる） * 2月・・・・・・第3回冬の陣実施（TP調査は2週間前までに終わらせる） * 3月・・・・・・企画継続に向けた拡大ミーティングの実施 	
(7) 事業の広報・参加者の募集方法（申請事業の市民への周知方法等について記載）	
「広報いわくに」や「日刊いわくに」へ記事掲載をお願いし、また小中学校へのチラシ配布を試みて市民への周知をはかりたいと思います。また、旅行雑誌や情報誌、さらにテレビ、ラジオ等にもリリースをして、岩国市へ興味を持つ旅行者への旅のヒントとしたいと思います。	
(8) 行政、企業、他の団体、地域住民などとの協働状況（事業を行うにあたり協働する点について記載）	
「いわくにバス」の全面協力の上に進めています。また「日刊いわくに」や「岩国まちなか倶楽部」との連携も前提となっています。さらに「いわくにの会」や「岩国パソコンの会」などの市民活動団体との連携も模索中です。	
(9) 事業実施上の工夫（申請事業の趣旨・目的達成のため、特に創意工夫する点について記載）	
1回目、2回目、3回目と、運営担当を変え、今後の継続実施に向けたノウハウの移植を実行出来ればと思います。また、岩国の玄関口（JR岩国駅、新幹線新岩国駅、岩国錦帯橋空港）で、買い物ゲームをすることで、岩国逸品選定の足掛かりを作りたいと思います。	
(10) 事業の継続（今後における事業継続の取組状況を記載）	
いわくにバスの利用促進と、市民および旅行者が岩国への興味を膨らませられるよう、定期的なイベント開催と、日常的に参加できるセルフ企画の可能性を拡大ミーティングで話し合いたいと思います。	